

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称	洗浄液EAT-OC-CL
製品コード	
供給者の会社名	OCI株式会社
住所	神戸市西区高塚台4丁目3番地6
担当部門	品質保証部
電話番号	078-992-1106
ファックス番号	078-992-1108
緊急連絡電話番号	078-992-1106
推奨用途及び使用上の制限	食品添加物 食品機械洗浄用製剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類		
物理化学的危険性	引火性液体	区分に該当しない(推定)
健康に対する有害性	急性毒性(経口) 急性毒性(経皮) 皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 誤えん有害性	分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性) 水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない 分類できない
GHSラベル要素	絵表示(ピクトグラム) 注意喚起語 危険有害性情報 注意書き 安全対策 応急措置 保管 廃棄 廃棄	無し 無し 特記すべき危険有害性はない。 非該当 非該当 非該当 非該当 【廃棄】 ・内容物/容器の廃棄は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	食品添加物 食品機械洗浄用製剤

組成物質名	濃度又は濃度範囲	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法/安衛法)
プロピレングリコール	19.0%	57-55-6	(2)-234 既存化学物質

4. 応急措置		
吸入した場合		空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させる。気分が悪いときは、医師に連絡する。
皮膚に付着した場合		多量の水と石鹸で洗う。水疱、痛みなどの症状が出た場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。
眼に入った場合		水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受ける。
飲み込んだ場合		口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。
5. 火災時の措置		
適切な消火剤		水噴霧、粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂等を用いる。
使ってはならない消火剤		情報無し
火災時の特有の危険有害性		情報無し
特有の消化方法		危険でなければ火災区域から容器を移動する。容器が熱に晒されているときは、移さない。安全に対処できるならば着火源を除去すること。
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置		作業の際には保護具(ゴム手袋、保護眼鏡等)を着用する。
環境に対する注意事項		流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材		吸着剤(おがくず、土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
二次災害の防止策		すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策 安全取扱い注意事項 接触回避 衛生対策	取扱は換気のよい場所で行う。眼、皮膚、衣類に付けないこと。 マスク、保護手袋 及び保護眼鏡/保護面を着用すること。 情報無し 情報無し
保管	安全な保管条件 安全な容器包装材料	密封し、冷暗所に保管すること。 情報無し
8. ばく露防止及び保護措置		
許容濃度		データ無し
設備対策		取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護具	マスク 保護手袋 保護眼鏡 適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	物理状态	液体
	色	無色透明
	臭い	わずかに臭気あり
融点・凝固点		データ無し
沸点又は初留点及び沸点範囲		データ無し
可燃性		データ無し
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		データ無し
引火点		データ無し
自然発火点		データ無し
分解温度		データ無し
pH		5.5～8.0
動粘性率		データ無し
溶解度		データ無し
n-オクタノール／水分配係数(log値)		データ無し
蒸気圧		データ無し
密度及び／又は相対密度		データ無し
相対ガス密度		データ無し
粒子特性		データ無し
その他データ		データ無し

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件下では、反応性はない。
化学的安定性	通常の使用条件では、安定で、自己重合性はない。
危険有害反応可能性	特記すべき反応性はない。
避けるべき条件	データ無し
混触危険物質	データ無し
危険有害な分解生成物	データ無し

11. 有害性情報

特記すべき危険有害性はない。

12. 環境影響情報

生態毒性	水生環境有害性(短期/急性)	分類できない
	水生環境有害性(長期/慢性)	分類できない
残留性・分解性		データ無し
生態蓄積性		データ無し
土壤中の移動性		データ無し
オゾン層への有害性		データ無し

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	都道府県知事の認可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	情報なし

14. 輸送上の注意

国際規制	国連番号	該当無し
	品名(国連輸送名)	該当無し
	国連分類(輸送における危険有害性クラス)	該当無し
	副次危険	該当無し
	容器等級	該当無し
	海洋汚染物質	該当無し
	MARPOL73/78附属書Ⅱ及び IBCコードによるばら積み 輸送される液体物質 その他の安全対策	該当無し
国内規制	海上規制情報	該当無し
	航空規制情報	該当無し
	陸上規制情報	該当無し
特別な安全上の対策		該当無し
その他(一般的)注意		運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、 損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
緊急時応急措置指針番号		該当無し

15. 適用法令

労働安全衛生法	該当無し
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	該当無し
毒物及び劇物取締法	該当無し
消防法	非危険物
海洋汚染防止法	該当無し
船舶安全法	該当無し
食品衛生法	食品添加物(使用基準 有) 機械洗浄用に使用し、残留のない場合は添加物の表示の必要はございません。

16. その他の情報

本データシートに含まれる情報は、弊社の知見に基づき誠意を持って参考情報として提示しているもので、これにより何ものをも保証するものではありません。また、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合は新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。なお、ここに記載されている情報は新しい知見に基づき改訂することがあります。

[注意] 本SDSはJIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。